

栃木県重点戦略

「新とちぎ元気プラン」の概要

とちぎの将来像
『安心』『成長』『環境』をともにつくる
元気度 日本一 栃木県

暮らしを支える
安心戦略



明日を拓く
成長戦略



未来につなぐ
環境戦略



とちぎづくり戦略

政策の基本 人づくり

とちぎ
づくりの
基本姿勢

地域をともに創る

とちぎ
づくり戦略の
推進に
向けて

協働による
とちぎづくり
選択と集中による
県政運営
とちぎの自治の
かたちづくり

とちぎの将来像を実現するためには、県民の皆さんやボランティア、NPO、各種団体、企業など、地域社会を構成する様々な主体が、それぞれの持つノウハウやアイデアを相互につなぎ、発展させ、そこに新しい価値を生み出していくことが必要です。このため、「地域をともに創る」という考え方により、とちぎづくりを進めます。

多様な主体が協働・創造するとちぎ

多様な主体が創意工夫を凝らした取組を実践し、これにより、とちぎづくりを進めます。

とちぎづくりの基本姿勢

- 県民一人ひとりが主役となるとちぎ
- 県民一人ひとりが社会から必要とされ、そこに生きがいを感じ、それがさらなる自己研鑽へと結びついていく
- 地域が自立・発展するとちぎ

今までにない新たな価値を創造することが、協働によるとちぎづくりをさらに前進させ、真に豊かな地域が創られます。

とちぎの将来像

このプランの特徴として、従来の網羅的な総合計画から、重点的な戦略としたことが挙げられます。限られた行財政資源を有効に活用しながら、県民の様々なニーズに応えていくため優先度や重要度に基づく選択と集中による施策の重点化を図っています。

特徴

役割

栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」は、中長期的な展望のもと、とちぎの目指すべき将来像を描き、その実現に向け、県民の皆さんと共有すべき基本的な考え方や目標を明らかにするとともに、今後五年間（平成二十三～二十七年度）に県が行う仕事の進め方等をお示しする県政の基本指針です。

また、県民の皆さんや企業、各種団体、市町村など、すべてのとちぎづくりの担い手が一緒になって考え、そして行動していくための共通の目標を示すという役割を併せ持っています。